

賛同署名 400 名、呼びかけ人 200 名を超える 憲法 9 条を守るために、賛同者をさらに広めましょう 1 月には市内の 戦跡めぐり を行います



あきる野 9 条の会が主催して 10 月 30 日は「講演とビデオ鑑賞のつどい」、11 月 19 日に「あきる野市民の戦争体験を聞く会」を行いました。市民の皆さんの関心も高く、参加者はつどい 60 人、聞く会 57 人と会場をいっぱいにしての盛況でした。 写真は講演する梅田先生(10/30)



つどい

梅田欽治先生（宇都宮大学名誉教授）は、靖国問題やアジア太平洋戦争の性格と歴史を詳しく説明し、米国が憲法施行から 1 年も経たないうちに一貫して憲法 9 条を否定して改憲を迫ってきた経過を明らかにするとともに、アジアと世界の平和に貢献している 9 条の意義を話しました。参加者は「とても分かりやすく戦争の歴史を学んだ」「9 条改憲がアメリカの強い要求であったことがよく理解できた」などと感想を述べていました。ビデオ「9-NINE-」も面白くためになったと好評でした。

聞く会

原一美さん（油平在住）は、10 歳のときに原爆投下直後の長崎で体験したことをくわしく話し、「原爆のことは今まで誰にも話していなかったが、憲

法 9 条が変えられようとしている今、話す決意をした。憲法 9 条は大切だ」と涙ながらに訴えました。南知子さん（伊奈在住）は、終戦 1 年後まで「満州」で過ごして体験したことを話し平和の大切さを訴えました。

ビデオ「五日市線空襲」は永井美枝子さん（故人）が当時の関係者の証言をもとに 25 年前に紙芝居を製作、1995 年に長男の永井榮亮さん（二宮 玉泉寺住職）がビデオにしたものです。会場からの発言も相次ぎ、空襲を受けた汽車に乗っていた中島さんは「軍国青年だった私は、目の前で人が殺されているのを見ていっぺんに戦争がイヤになった。学校を 3 日も休んでしまった」と。シベリヤ抑留の経験を持つ小池さんは「満州の関東軍の主力は南方に回され、戦える状態ではなかった。軍隊は国民を守るものではない」と話しました。

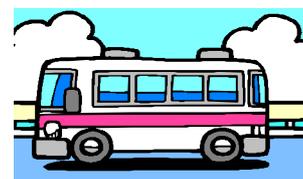
日の出九条の会が発足 11/13 ひのでグリーンプラザで発足のつどいを行い 74 名が参加して発足しました。あきる野からも 11 名が参加しました。なお、羽村と瑞穂は「九条を守る会・西多摩」として 8/20 発足、福生は「福生市民九条の会」として 12/23 発足の予定です。

賛同カードは署名と同じです。賛同カードが事務局に届くと次回からニュースをお届けします。

賛同カードを集めましょう

11 月 30 日現在の賛同者
賛同いただいた方々 400 名
呼びかけ人など公表 209 名

バスで行く あきる野市内の 戦跡めぐり



- 1 月 22 日(日) 午前 9:00 ~ 午後 3:00 まで 雨天決行
- 定員 40 名(申し込み制) 参加費 1,000 円(バス代、資料代)

- 集合出発場所と予定時間 = 9:00 五日市駅前、9:10 近藤醸造元付近、9:15 秋川駅北口前、9:20 市役所、9:25 東秋留駅上パーク付近。(時間は交通事情などで前後しますので出発の 15 分前までにお集まりください)
- コース = 列車空襲現場(五日市線鉄橋) 爆弾投下場所(油平) 海老沢寮跡(引田) 陸軍倉庫跡(引田) 昼食(お弁当持参) 横沢入の地下壕跡と戦車橋 「青い目の人形」見学(戸倉小学校) 帰途(来た順に降ろしていきます)
- 現場にてお話しただく方(予定) = 清水浩さん(秋川の戦争を語りつぐ会会員)、中島元利さん(襲撃された五日市線列車の乗客のひとり)、唐沢慶行さん(横沢入りの戦争遺跡調査報告書の主要報告者)ほかを予定しています。

- お申し込み：1 月 10 日までに。ただし、定員になり次第締め切ります。事務局・前田 558-7857 または、佐野(山田)596-3463 へ

ご参加ください

